



第28回 三ヶ日東小学校運営協議会

令和6年1月25日（木） 12:10～

浜松市立三ヶ日東小学校 会議室

進行:学校支援CD（楠）

- 1 給食配膳・給食参観（各教室） 12:10～12:20
- 2 給食試食（会議室） 12:20～13:00
- 3 会長挨拶 13:00～13:05
- 4 校長挨拶 13:05～13:10
- 5 議長選出
- 6 前回会議録の確認
- 7 熟議 13:15～15:35 議長：（石原）
※途中、授業参観（13:30～14:00）を行う。
(1)学校評価の成果と課題から
・児童の自己評価【6年児童】
・学校の自己評価【教務】
・学校関係者評価【各委員】
※いじめ防止等のための基本的な方針の評価も含む
(2)教育活動や児童の様子に関すること【教頭】
(3)学校支援活動について【染葉・教頭】
(学校サポーター・学習支援活動の集約、ステッカーの引継ぎと管理
子供見守りボランティア等)
- 8 連絡事項等 15:35～15:40
(1)令和5年度の学校運営協議会自己評価について【教頭】
(2)教育総務課より
(3)次回議長の選出
(4)年間予定
・第29回 2月20日（火）15:00～16:30

令和5年度 第27回 三ヶ日東小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年10月23日（月）15時00分～16時30分
- 2 開催場所 三ヶ日東小学校 大会議室
- 3 出席委員 竹下 豊子、楠 道寛、大野 周一、大野 恵美子、和田 勝美
若松 一也、清水 貴仁、石原 正仁、渥美 浩之、山本 万智子
- 4 欠席委員 なし
- 5 学校支援コーディネーター 染葉 直美
- 6 学 校 山田 芳和（校長）、吉川 利行（教頭）、高島 博（教務主任）
鈴木 康二（CSディレクター）
- 7 教育委員会 牧野 智子（教育総務課）
- 8 傍 聴 者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 鈴木 康二

10 議長の選出

司会（若松一也委員）から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、清水貴仁委員が、本日の議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

- (1) 学校サポーター、学習支援に関すること
- (2) 通学路の安全について
- (3) 150周年記念行事へのかかわりについて
- (4) 学校評価アンケートの項目について

12 会議記録

司会から、委員総数10人全員の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 学校サポーター、学習支援に関すること

《説明：染葉学校支援CD》

5年生及び6年生の家庭科授業について、1学期は手縫いを行った。2学期はミシン縫いを行っている。多いときは7名のボランティアに参加して頂き、生徒の皆さんに声かけをしながら、しっかり目が行き届いたなかで授業を行うことができている。今後の授業についても学校と相談しながら支援していく。

《発言内容》

◇B&Gでの1、2年生のプール授業におけるボランティアによる補助について、前回の協議会において意見を頂き、保護者の皆さんに募集したところ、毎回4、

5人の方々が参加して頂き、延べ25人参加して頂いた。教員だけでは届きにくい所を観て頂き安全に行うことができた。来年度についても、今年度同様にボランティアを募集していく。(高島教務主任)

◇協議会において、1、2年生のプール授業をB&Gで行うこと、及びボランティアによる補助について意見を頂き実施し、とても効果的できであった。来年度も同様に実施していく。(山田校長)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(2) 通学路の安全について

《説明：清水貴仁委員》

別紙資料「子ども見守りボランティア募集」に基づき説明。

登下校の見守りに活用を検討していただきたい。タスキ及び名札が配布される。なお、登録すると障害保険に加入されるため、もし、活動時に事故にあった際は、当該保険を適用できる。

《発言内容》

◇各個人で自由に登録できるとのことであるが、誰が登録して活動してくれているのか学校側が把握していた方が良い。(石原正仁副会長)

◇このようなシステムがあるなら、活用していくことも一つの方法である。今後の検討課題としたい。(大野周一会長)

◇通学路の雑草が凄くて生徒たちが歩きにくい箇所がある。除草して頂くにはどのようにすればいいか。(渥美浩之委員)

◇各自治会長に伝えれば、北区の土木整備事務所に連絡してくれて、可能な範囲で対応してもらえる。(大野周一会長)

協議の結果、引き続き検討していくことで、全員異議なくこれを承認した。

(3) 150周年記念行事へのかかわりについて

《説明：吉川教頭》

別紙資料「150周年に向けて」に基づき説明。

《発言内容》

【東小ウォークについて】

◇1班20名程度になると思われるが、歩く際に列が長くなり各班に同行する教員1名だけでは安全管理が困難であると思われる。同行して頂けるボランティアを募集してはどうか。(大野周一会長)

◇車の通行量が多く歩道が無い箇所もあるので、同行して頂けるボランティアを募集した方が良いと思う。(大野恵美子委員)

◇同行して頂けるボランティアを保護者の方に募集する。(山田校長)

◇浜名湖サービスエリアは、各地から様々な方が来ているので、連れ去り防止のため、生徒さんたちが勝手に店舗の方へは行かないように注意して頂きたい。

(和田勝美委員)

◇生徒さんが怪我をしてしまった時などの緊急対策を万全にしていきたい。

(大野周一会長)

◇学校に詰める私と事務職員の2名が情報収集・配信するなどの対応をとる。また、校長と養護教諭が適宜見回りをするので、何かあった際は直ぐに学校に連絡を入れる体制をとっていく。(吉川教頭)

◇チェックポイントを設けて、到着したら学校に連絡を入れて状況確認をしてはどうか。(石原正仁副委員長)

◇そのように対応していく。(山田校長)

【リーフレット作成について】

◇従来通りの業者さん作成するのではなく、生徒さんと一緒に作成する形のものとして、思い出になるようなリーフレットにしていく。(若松一也委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(4) 学校評価アンケートの項目について

《説明：高島教務主任》

別紙資料に基づき説明。

特段の発言はなく、全員異議なくこれを承認した。

■その他連絡事項等

○次回協議会日程

開催日時：令和6年1月25日(木) 12時10分～15時40分

令和5年度 学校評価アンケート結果

松小111 浜松市立三ヶ日東小学校

本校では、目指す子供像を「思いやりの心と健やかな体で学び続ける、活力ある三ヶ日東の子」とし、予測困難な令和の時代を生き抜く子供たちの育成を目指している。この「活力ある子」の育成を具現化するために「知・徳・体」のバランスのとれた重点目標を設定し、学校教育目標である「夢をもち、都筑の丘に輝く子」を育てていきたいと考えた。そこで、「思いやる子」「進んで学ぶ子」「健やかな子」の重点目標を中心に令和5年度の自己評価目標を設定した。また、「学校いじめ防止基本方針」に関連した生徒指導に関わる評価についても追加し、保護者10項目、児童20項目をアンケートにより回答していただいた。

今回の結果を基に、教育環境や指導方法の改善を図り、学校教育目標の実現に向かって、教職員一同、心を一つにして児童の育成に努めていきたいと考える。

児童アンケートより

- 96%の児童が、学校に行くのは楽しいと考えている。また、97%の児童が授業は分かりやすく楽しいと答えている。ほとんどの項目で90%を超えており、落ち着いて充実した学校生活を送ることができている児童が多いと言える。
- △ 肯定的な意見が90%の割合を超えていない項目が1つだけある。毎日「10×学年＋10分」の家庭学習ができているかという項目である。本年度は、家庭学習の取り組み方や内容を低・中・高学年でまとめ、意識付けを行った。内容を重視した分、学習時間への意識が低下してしまったと思われる。

保護者アンケートより

- 教科担任制については、90%以上の肯定的な評価をいただいた。また、人が困っている時に助けているか、子供の困り感を感じ取り、学校や担任に相談しているか、学校行事への参加等を通して学校理解に努めているかという項目についても高い評価をいただいた。子供は人とのつながりを大切にしていると考えていることや学校行事等に積極的に参加し、学校のことを知ろうとしてくださっていることにより、学校の教育活動や運営を肯定的に評価していただいていると言える。
- △ 80%の割合を超えていない項目が2つある。子供は学習に粘り強く取り組んでいるかという項目と子供は外で元気に遊んだり体力づくりに取り組んだりしているかという項目である。子供の学習面や体力面についてやや不安に思っているのではないかとと思われる。

教職員アンケートより

- 学校の教育活動や運営について、おおむね肯定的にとらえている。本校の強みは、子供が素直で保護者や地域が協力的であることと回答している割合が高い。
- △ 本校の弱みについては、少人数のため人間関係が固定化してしまうこと、自主性に欠け心が弱い子供が多いという回答が多かった。学習面に関しても粘り強さや最後までやり抜く力に欠ける子供がいるとの回答が多かった。

いじめ防止基本方針に基づく内容より

- 昨年度の児童アンケートでは、困ったことや悩みがある時に相談できるかという項目が90%を下回っていた。しかし、本年度は、いじめはどんな理由があってもいけないことだと思うという項目に98%、困ったことや悩みがある時に相談できるという項目に91%の肯定的な意見が見られた。教員への質問事項である「子供と関わり、観察や個人面談をいじめの発見につなげること」については、全職員が「できている」と回答している。これまでの日頃の児童観察に加え、学級担任が全児童との個々面談を実施し一人一人と向き合う時間が確保されていることで、児童が安心して学校生活を送ることができる環境づくりにつながっていると考える。
- △ いじめ未然防止のために、いじめの防止等に関する取り組みの年間活動計画の中で、児童会活動や学級活動の話合い活動として、思いやりや良好な人間関係作りについて考える時間をもう少し増やしていくとよいという意見が出た。

成果について

児童や保護者、教職員の生活面や学習面に関する回答から、充実した学校生活を送っていることがうかがわれる。また、本年度計画している学校行事等の教育課程は、計画通りすべて行うことができている。子供たちや保護者、地域の方が満足のいく学校行事になるよう改善を図ったり、サポーター等の外部人材を多く活用した活動を行ったりすることで、楽しい学校づくりへの取り組みを行ったことを高く評価してくださっていることが分かる。

課題、改善策について

課題については、家庭学習の充実、粘り強い学習への取り組み、外遊びや体力づくりの充実が挙げられる。家庭学習については、児童、保護者とも物足りなさを感じている割合が高いので、何のために学習をするのかというガイダンスも含めて、家庭学習の取り組み方について改めて考え、児童、保護者に周知・徹底を図っていきたい。また、粘り強い学習態度の育成については、研修の内容とも連携し充実を図っていききたいと考える。外遊びや体力づくりの充実については、これまで以上に学校での外遊びを推奨し、自ら進んで体を動かせるような声掛けをしていきたい。

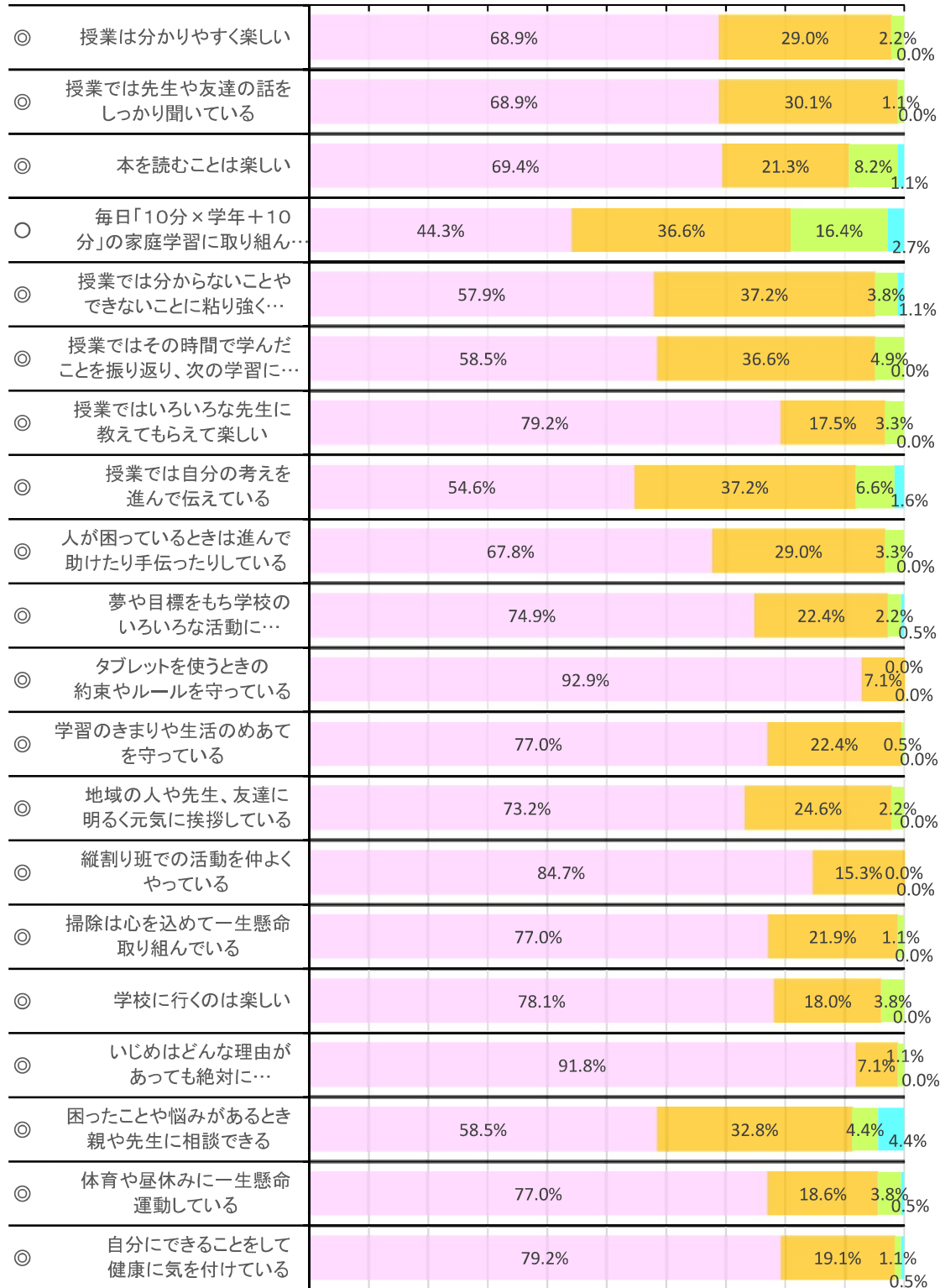
いじめ防止基本方針に基づき、「いじめ見逃し0」「いじめ未然防止」をより組織的かつ実効的に機能させていくために、来年度以降の改善点として、事実を聞き取り、記録に残すことについての改善が必要であるという意見が出た。いじめ対応の手引きの「聞き取りメモ」の活用を全職員で確認し、5W1Hを含めた明確な事実の記録の徹底を図っていきたい。

学校教育目標実現のために「知・徳・体」のバランスの取れた目標設定の重要性に改めて気づくことができた。キャリア教育でつきたい力を子供たちに意識させ、学習や活動の価値づけを大切にしていくことはもちろん、保護者や地域の方が子供のために動きやすく、ともによりよい学校教育を創っていくために、開かれた三ヶ日東小を目指し、持続発展するCS活動や学校からの情報発信の仕方についても工夫していきたい。

令和5年度 児童 学校評価アンケート集計 結果

■ そう思う
 ■ 大体そう思う
 ■ あまりそう思わない
 ■ そう思わない

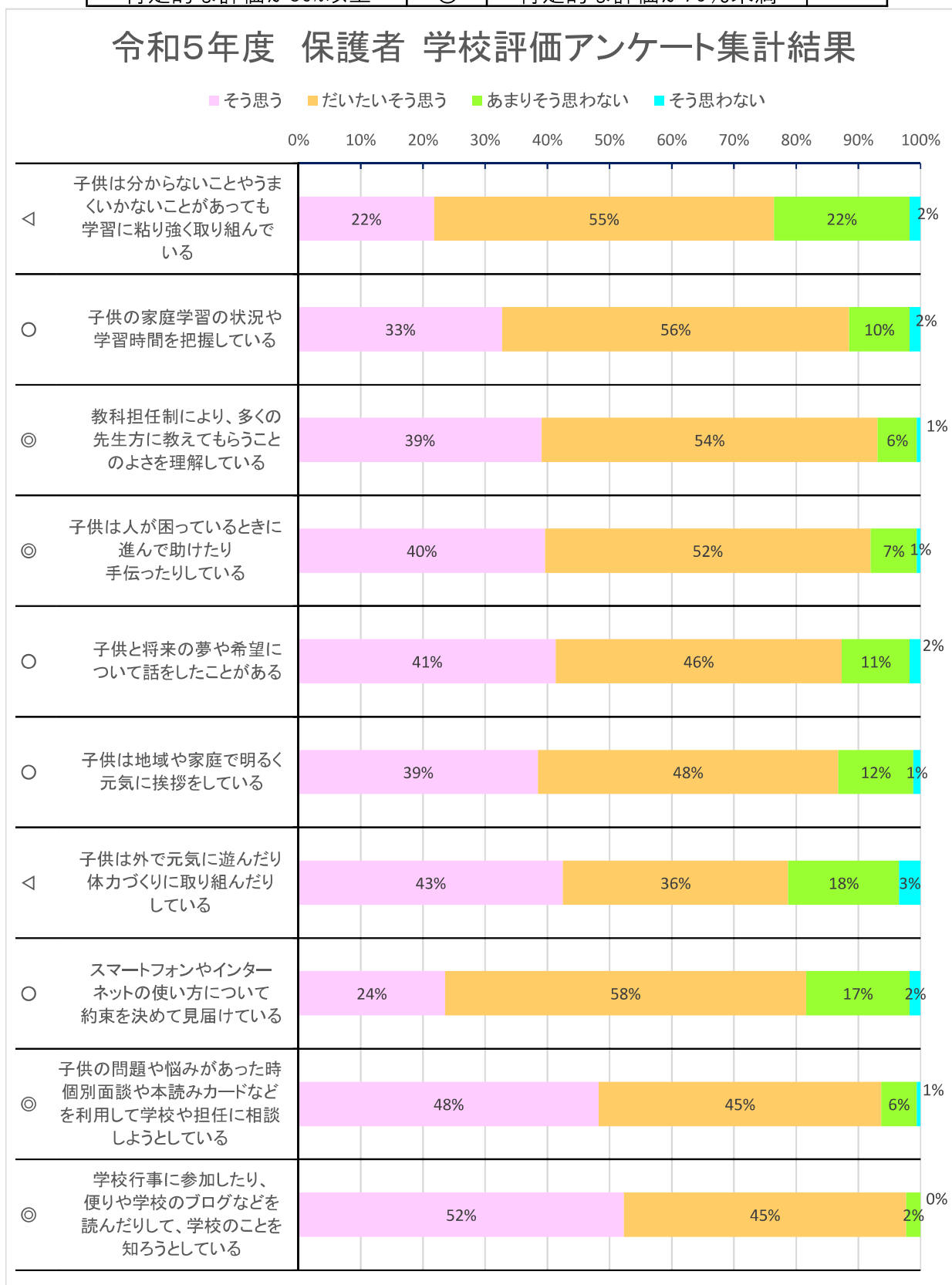
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



自己評価結果

肯定的な評価とは、各設問に対する回答が「そう思う」「だいたいそう思う」の合計。
 成果を各設問の左に記号で示した。

肯定的な評価が90%以上	◎	肯定的な評価が70%以上	△
肯定的な評価が80%以上	○	肯定的な評価が70%未満	×



令和5年度 小学校(教員)の実態把握調査 集計結果一覧表

		市内全校				本校
質問項目		R2全体 肯定的 回答割合	R3全体 肯定的 回答割合	R4全体 肯定的 回答割合	R5全体 肯定的 回答割合	R5調査校 肯定的 回答割合
1	自校のキャリア教育で育てたい力を踏まえて実践している	92.1%	91.3%	93.0%	92.2%	100.0%
2	今年度、発達支援学級や複式学級、学年(団)の教員と協働して、キャリア教育の年間計画を作成(見直し)している	80.8%	87.6%	85.6%	84.1%	90.0%
3	自校のキャリア教育で育てたい力を子供と共有し、実践している	85.8%	87.4%	89.4%	89.9%	100.0%
4	キャリア教育年間指導計画に位置付けられている教科学習や教科外活動の中で、子供にキャリア教育で育てたい力を育む指導を行っている	91.0%	90.0%	91.2%	91.2%	100.0%
5	自校のキャリア教育で育てたい力を子供が自覚することができる手立てを工夫している	81.3%	80.7%	85.4%	84.6%	100.0%
6	子供が、子供同士や大人(教員・保護者等)と対話的に関わり、成長を促すことができるよう、キャリア・パスポートを活用している	72.3%	78.6%	80.3%	81.6%	100.0%
7	子供一人一人がよさを発揮できるよう、場を工夫して設定している	96.8%	96.6%	97.1%	96.5%	100.0%
8	子供が地域の魅力を発見する、または、地域の将来を考える機会を設けている	81.4%	77.9%	82.7%	83.3%	100.0%
9	子供が難しいことでも失敗を恐れず挑戦することができるよう支援している	97.5%	98.0%	97.9%	97.4%	100.0%
10	自分で決めた時間に勉強しよう子供に指導している(自分で計画を立てて勉強しよう子供に指導している)	83.5%	80.8%	79.9%	79.8%	90.0%
11	教科の学習や特別活動等において、子供が決めたことを最後までやり遂げられるよう支援している	98.3%	97.8%	98.2%	97.5%	100.0%
12	(単元や1時間の授業において)子供にとって切実感や必要感のある学習課題を設定するようにしている	95.1%	94.8%	95.7%	94.8%	90.0%
13	子供が学習の見通しをもって粘り強く取り組んだり、自己の学習活動を振り返って次につなげたりできるように、学習過程を工夫している	95.9%	95.7%	96.3%	96.0%	100.0%
14	子供同士の協働、教職員や地域の人々との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、子供が自己の考えを広げ深めることができるように、学習過程を工夫している	87.5%	86.2%	89.9%	89.7%	90.0%
15	子供が、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせられるように、学習過程を工夫している	90.9%	92.3%	92.7%	92.2%	90.0%
16	自国の文化及び異文化に対する理解を深める機会を設けている	78.4%	77.7%	76.1%	76.9%	60.0%
17	「浜松市情報活用能力育成目標」に基づいて子供への指導を行っている	—	74.8%	75.3%	76.0%	100.0%
18	教科指導において、単元の中で計画的に子供がタブレット型端末を活用する授業を実施している	—	80.0%	87.1%	89.4%	100.0%
19	調べたことをまとめるときは、収集した情報の中から目的に合ったものを選んで使うよう子供に指導している	89.9%	85.4%	87.0%	87.1%	100.0%
20	インターネットやゲームをするときの(情報をやり取りするときの)ルールやマナーについて、日常的に子供に指導している	86.3%	88.6%	88.5%	88.8%	90.0%
21	情報モラルについて、子供にわかりやすく指導している	88.7%	91.3%	91.9%	91.3%	100.0%
22	授業において、ICT支援員を活用している	—	70.2%	65.8%	62.9%	90.0%
23	ICT支援員による支援は、子供の学びの充実につながっている	—	91.6%	91.5%	91.8%	100.0%
24	単元構想の中に、地域や社会をよりよくするための視点を取り入れている	66.3%	66.3%	67.5%	68.1%	80.0%

市内全校

本校

25	いじめはどんな理由があってもいけないことだと指導している	99.9%	99.7%	99.8%	99.6%		100.0%
26	学校のいじめ防止基本方針を理解し、それに沿って対応するよう心掛けている	—	—	99.4%	99.5%		100.0%
27	道徳科の授業等で、「はままつマナー」を活用して、命を大切にす心や規範意識について指導している	84.0%	80.5%	78.2%	79.9%		100.0%
28	運動することの必要性を子供に指導している	94.4%	94.3%	93.6%	93.6%		100.0%
29	災害や事故から命を守り、安全を確保するための方法について、子供に指導している	99.1%	98.8%	98.9%	98.4%		100.0%
30	個々の児童生徒の状況に応じて、多様で柔軟な指導・支援を行っている	98.6%	98.8%	98.2%	98.8%		100.0%
31	「浜松市教員育成指標」に示された、キャリア段階に応じて求められる資質・能力を知っている	83.4%	84.1%	83.8%	86.1%		90.0%
32	校内外の研修や研究会に参加した成果を教育活動に積極的に反映させている	93.7%	93.7%	93.9%	93.7%		100.0%
33	子供一人一人のよい点や可能性を見つけ、子供に伝えている	99.5%	99.4%	99.2%	99.2%		100.0%
34	子供や保護者からのいじめ等の相談や気になる表れに対して、一人で抱え込まず、他の教職員と情報共有しながら対応している。	—	—	99.5%	98.8%		100.0%
35	校内外でいじめや人権に関する研修を受講し、自らの資質向上に努めている	—	—	91.2%	90.1%		100.0%
36	時間の使い方を意識した働き方に努めている	87.6%	87.8%	85.4%	87.8%		90.0%
37	効率よく業務を進めるため、常に自分の業務を見直し、改善を図っている	85.0%	85.5%	84.0%	86.5%		90.0%
38	教育相談や家庭訪問、たより等を通して、家庭の教育力の重要性を保護者に伝えている	92.6%	90.6%	90.1%	89.7%		90.0%
39	学習のねらいに基づいた、保護者や地域の人材を活用する授業を実施している、または予定している	86.2%	83.4%	90.5%	92.2%		100.0%
40	保護者や地域住民と、学校の教育目標や課題を共有した学校運営ができています	—	85.5%	88.4%	90.6%		100.0%
41	地域の人材や教材の活用により、教育活動が充実している	—	82.7%	89.3%	91.4%		100.0%
42	保護者や地域住民の学校支援活動により、子供と向き合う時間の確保につながっている	—	60.6%	66.0%	72.4%		90.0%

『令和5年度2学期学校評価（教職員）』のアンケート結果

本校の特色として強み、弱みは何だと思いますか。

強み・・・地域が協力的であること。スクールバスがあり、活動の幅が広がること。

弱み・・・大事にされすぎていて、心の弱い子が多いこと。

強みは落ち着いた教育活動ができること、弱みは心が弱い子が多いこと。

地域の協力があり体験的な学びができることが強み。

単級が多く、人間関係が固定するためか、学習刺激が少ない気がする。（けれども、学力調査はいつも良い）

強み…外部人材や学習に活用できる施設が豊富にある。学区が広く、それぞれに特色がある。

本当に多くのボランティアの方が来校してくださり、まさに地域で子供たちを育てているという雰囲気なのが強みだと思います。

これはしょうがないのですが、関わる人の範囲が狭く、人とのかわりや環境に変化があまりないことからの弱みはあるのかなと思います。（具体的にはうまく言えません）

強み 地域の良さ（人材等）を有効に活用できること

弱み クラス替えがなく子供たちの人間関係が固定されてしまっていること

強み：小規模校で教科担任制なので、一人の児童に対し多くの職員の視点があること。

弱み：特になし。

本校の強みは、子供が素直で明るいところ。地域は、子供たちのことをよく見ているところ。職員は、率先して考え、行動できるところ。

【強み】

- ・素直に聞くことができる
- ・友達同士仲が良い
- ・保護者が協力的

【弱み】

- ・主体性に欠ける（指示待ちが多い）
- ・メンタルが弱い

子供たちが一生懸命に活動できる

明るく、元気な子が多い

令和5年度 サポーター活動表(教科等) ()は担当

月	生活・総合	社会・理科	家庭科	算数	体育	図工・書写・音楽
4						
5	2 3年みかん学習<花を見る> (渥美農園) 3年大崎探検(保護者) 6年野地城址、佐久城址見学 (郷土を語る会 大野勝美) 3年大谷探検(和田牧場・和田勝美保護者) 6年総合 大福寺・摩訶耶方面					
6	5年環境学習 (ブルーレイク、長坂蜂蜜) 1年大崎幼稚園交流会 (保護者) 2年生活 三ヶ日図書館見学		5年 小物作り (竹下豊子)		1年命の授業 (助産師白井) プールボランティア(追加)	
7	4年総合 一人歩き模擬訓練				6年カヤック体験(トリトン)	
9	総合課題設定講座3~6年(若松さん) 4年総合車いす体験 3年総合みかんの里資料館見学		5年ミシン(竹下豊子)			3年図工<ぎょうちん> (若松一也、 ——ルイヨン)
10			5年ミシン (竹下豊子) 6年ミシン (竹下豊子)		6年命の授業 (白井さん)	席書コンクール書写指導 (3・5年 藤原さん)
11	3年総合 長坂養蜂所見学 4年総合点字体験 4年フラワーアレンジメント体験 3年春華堂見学(若松さん) 5年SDGs講座 2年生活町探検<メイポップ・ふうたろう>					席書コンクール書写指導(4・6年 藤原さん) 4年 合唱指導 (音楽)
12	3年みかん選果場見学 2年大崎探検(保護者) 3年ミカン収穫(渥美農園)	5, 6年理科 ミクリムの観察 (梶村泰介)		4年そろばん (竹下豊子)		3・4・5・6年 書き初め指導 (藤原和代・ 竹下豊子)
1		3年社会 市の うつりかわり (鈴木さん)				
2	3年総合食農教育(感謝祭・JA) 6年総合浜名湖橋見学(どぼくらぶ・鈴木さん) 全学年 話し方講座(つながるプロジェクト)	5年社会 どぼくらぶ				6年音楽 卒業式の歌指導
3				3年算数 そろばん (竹下豊子)		
通年	外国語活動(川崎美砂子)(小林則子)					

令和5年度

サポーター活動計画（教科外）

三ヶ日東小学校

月	行事	校内整備	読み聞かせ	図書室	託児	生け花・苗植え	学校運営協議会
4	6 始業式 7 入学式 20 防犯教室(竹本五三)					5 生け花	26 協議会
5	25・26 4・5年宿泊学習	掲示物づくり	18 活動計画ミーティング	修理整頓		17 生け花	
6	18 キラキラダンスコンテスト		21,28 読み聞かせ	修理整頓		生け花	1 協議会
7	19 部会水泳記録会 20 終業式		5 読み聞かせ	修理整頓		生け花	
9	1 始業式	掲示物づくり	6,13 読み聞かせ	修理整頓		生け花	
10	3 部会陸上記録会 14 運動会 26・27 修学旅行		25 読み聞かせ	修理整頓	19 就学時健診	生け花	23 協議会
11	29 浜松市音楽研究発表会		15 読み聞かせ	修理整頓	17 参観会	生け花	
12	13 完走大会 (長坂蜂蜜よりあめ) 22 終業式			修理整頓		生け花	
1	9 始業式	掲示物づくり	17,31 読み聞かせ	修理整頓		生け花	25 協議会
2	17 生活・総合発表会		7 読み聞かせ 来年度計画	修理整頓	5 入学説明会	生け花	20 協議会
3	15 修了式 18 卒業式	掲示物づくり				生け花	
代表		山田 綾	黒柳由美子	二橋 智子	染葉 直美	楠 美千代	
担当		教 頭	土屋 妙子	土屋 妙子	教 頭	教 頭	
通年	登校見守り(黒柳 勝、大野恵美子、石田紹二、林口渚) 東名高速道路横断幕(ネクスコ江夏崇、本川勲)						

「子ども見守りボランティア」を募集しています！

だれでもできる「ながら見守り」で、子供たちを犯罪から守るのじゃ！



地域のみなさま、タスキや名札をつけて。

- 「散歩をしながら・・・」
- 「庭に出て座りながら・・・」
- 「登下校の通学路に立ちながら・・・」



【反射材付きタスキ】



※本事業は、令和元年10月1日から開始しています。可能な時間に、タスキや名札を着けて外に出ただけで結構です。報告の必要はありません。多くの方々の見守る目が犯罪抑止となり、子供たちの安全確保につながります。ぜひ、ご登録とご協力をお願いします。

※本事業の活動中にけがや事故が起きた場合についての傷害保険は、浜松市で加入します。

登録方法

以下のいずれかの方法で申込をお願いします。

【方法1】

裏面の二次元バーコードからスマートフォン等で登録。

【方法2】

本申込用紙を①、②、③のいずれかの方法で提出し登録。

①FAX ②郵送

③教育委員会やお住まいの地域にある公立の小中学校へ提出

※登録していただいた方には、タスキと名札をご自宅へ送付します。

※タスキには反射材がついておりますので、見守りボランティアの皆様の安全も、守ることができます。

お問い合わせ

浜松市教育委員会健康安全課

住所：〒430-0929

浜松市中区中央一丁目2番1号
イーステージ浜松オフィス棟5階

TEL：053-457-2422

FAX：053-457-2579



【浜松市子供安全ネットワーク推進事業】

「子ども見守りボランティア」登録 申込用紙

○以下のいずれかの方法で申込みをお願いします。

方法1. 右記の二次元バーコードからスマートフォン等で登録する。

方法2. 本申込用紙を①、②、③のいずれかの方法で提出し登録する。



提出日	令和 年 月 日	生年月日	昭和・平成 年 月 日
ふりがな			
お名前	満 () 歳		
ご住所	〒 市 区 お住まいの地域にある公立小・中学校名 (学校) ※学校名がお分かりになる場合はご記入ください。		
ご連絡先	自宅 () ー 携帯 () ー		

① F A X . . . 0 5 3 - 4 5 7 - 2 5 7 9

② 郵 送 . . . 〒 4 3 0 - 0 9 2 9
 浜松市中区中央一丁目2番1号
 イーステージ浜松オフィス棟5階
 浜松市教育委員会 健康安全課 宛て



<タスキ・名札のデザイン>

③ 直接持参 . . . 浜松市教育委員会 健康安全課または、
お住まいの地域にある公立の小中学校

○登録していただいた方には、見守りの際に着けていただくタスキと名札を、ご自宅へ送付します。散歩や庭いじり、通学路に立つなどの可能な時間にタスキや名札を付けて、子供たちの見守りをお願いします。多くの方々の見守る目が犯罪抑止となり、子供たちの安全確保につながります。ご協力をよろしくお願いします。

○入力していただいた個人情報は、浜松市教育委員会にて厳重に管理し、本事業以外の目的では使用いたしません。

浜松市教育委員会 健康安全課 TEL 053-457-2422 FAX 053-457-2579

浜松市立小中学校運営協議会長各位

浜松市教育委員会 教育総務課
学校・地域連携担当課長 鈴木健一郎

令和5年度学校運営協議会自己評価の実施と結果等の報告について（依頼）

春暖の候、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃から、本市のコミュニティ・スクールにつきまして御理解と御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、学校運営協議会は、浜松市学校運営協議会規則第8条第2項に基づき、毎年度、自己評価を行わなければならないこととなっています。評価に当たっては、別添「学校運営協議会自己評価実施要項」に沿って実施し、結果について下記のとおり御報告願います。

記

- 1 提出物 令和5年度学校運営協議会自己評価表（様式1）
- 2 提出期限 令和6年2月末日（最終の学校運営協議会終了後、速やかに）
- 3 提出先 各学校へ御提出ください。
- 4 その他
 - (1) 自己評価は、実施要項、記入上の留意点を参考にし、委員全員で十分に話し合って進めていくようにしてください。
 - (2) 自己評価の結果については、CS便りや学校ホームページ等を活用し、広く保護者や地域住民等に公表するよう努めてください。
- 5 担 当 教育総務課 地域連携G 清水・牧野 電話：457-2401

(様式1)

令和5年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立() 学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

- ※ 前年度に協議会自ら設定した取組目標（学校運営協議会の自己評価＜評価項目3＞）を再確認し、委員間で共有する。1～2点に絞るのもよい。
1年目は、「学校を知る」ことを目標に据える。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- ※ 参考資料【熟議チェックシート】等をもとに、各委員が振り返りを行う。
- ※ 学校運営の基本方針（自校の学校教育目標や「育てたい力」等）について、協議した内容を簡潔に記載する。（1～2点でもよい。）
- ※ 委員個人の意見ではなく、協議会としてまとめた結論を記載する。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- ※ 参考資料【熟議チェックシート】等をもとに、各委員が振り返りを行う。
- ※ 成果・課題等を簡潔に記載する。方法論だけではなく、「育てたい力」や「目指す子供の姿」とのつながりをポイントにする。（1～2点でもよい。）
- ※ 委員個人の意見ではなく、協議会としてまとめた結論を記載する。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- ※ どんな方法による情報発信を行ったか、それによってどのような効果があったのか等を振り返って記載する。

＜評価項目4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

- ※ 1～2点に絞り、記載する。

自己評価の結果については、学校ホームページで公表します。

(様式2)

令和5年度 学校運営協議会自己評価表

委員名 ()

＜本年度の目標＞

※ 協議会で設定した取組目標を記載する。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

※ 参考資料【熟議チェックシート】等をもとに、振り返りを行う。

※ 学校運営の基本方針（自校の学校教育目標や「育てたい力」等）について、協議した内容を簡潔に記載する。

※ 委員個人の意見だけでなく、協議会としての視点で記載する。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

※ 参考資料【熟議チェックシート】等をもとに、振り返りを行う。

※ 成果・課題などを簡潔に記載する。方法論だけでなく、「育てたい力」や「目指す子供の姿」とのつながりをポイントにする。

※ 委員個人の意見だけでなく、協議会としての視点で記載する。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

※ どんな方法による情報発信を行ったか、それによってどのような効果があったのか等を振り返って記載する。

＜評価項目4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

※ 委員個人の目標だけでなく、協議会全体としての目標を記載する。

【 熟議チェックシート 】

委員名 ()

できている もう少し

評価項目 1			校長の説明を聞いて、分からない用語や疑問に感じたことを質問し、それに対して理解・納得できる回答が得られた。
			基本方針の承認にあたり、校長の説明を聞き置くだけでなく、よりよい学校運営のために建設的な意見を発言できた。
			学校教育目標や学校運営の基本方針についての内容を理解し、共有した。
			学校評価などの評価結果を生かした改善について確認した。
			学校運営について、率直に意見を述べることができた。
評価項目 2			学校の教育目標と学校支援活動とのつながりを意識して、協議会で協議を重ねた。
			熟議の結果、学校、家庭、地域がそれぞれ実行すべきこと、役割分担が明確になった。
			これまで行われてきた学校支援活動についても、教育目標とのつながりや学校、家庭、地域の役割分担を考え、見直すことができた。
			協議会で決定し、実施した学校支援活動について、振り返りや反省を行った。



令和6年1月25日

学校運営協議会委員 各位

学校運営協議会長 大野 周一

令和5年度 第29回 三ヶ日東小学校運営協議会 開催について

このことについて、下記のとおり開催します。つきましては、関係各位には御出席をいただきたく、よろしくお願い申し上げます。

記

1 日 時 令和6年2月20日(火)15:00~16:30

2 会 場 浜松市立三ヶ日東小学校

3 内 容 (1)会長挨拶

(2)熟議

①令和6年度学校運営基本方針(校長)

②いじめ防止等のための基本的な方針(校長)

③令和5年度学校運営協議会自己評価(会長)

④令和6年度学校運営協議会の目的及び年間計画、組織(会長)

⑤令和5年度夢育やらまいか事業(教頭)

4 その他

(1)御欠席の場合は、2月13日(火)までに、三ヶ日東小教頭 吉川に御連絡ください。

(2)その他、本件に関して御不明な点は、以下担当へ御連絡ください。

担当(連絡先)
浜松市立三ヶ日東小学校
CSディレクター 鈴木 康二
TEL 526-7034
mikkabihigashi@city.hamamatsu-szo.ed.jp